

# 埼玉県県土づくり優秀現場代理人等表彰要綱

## (下水道局)

### (目的)

第1条 この要綱は、埼玉県下水道局が発注した建設工事を、優秀な成績で履行した現場代理人等（埼玉県建設工事請負契約約款第10条に規定する主任技術者、監理技術者及び専門技術者を含む。以下「現場代理人等」という。）を表彰することにより、現場代理人等の技術の向上を図るとともに、建設工事の適正な施工を確保することを目的とする。

### (表彰の対象)

第2条 表彰は、下水道局が発注した建設工事のうち、表彰実施年度の前年度に完成した工事における現場代理人等が、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとする。

- (1) 建設工事の施工における技術上の管理が特に優秀と認められるもの。
- (2) 特に困難な施工条件を克服して、優れた成績をもって建設工事を完成したものの。
- (3) その他、事業の遂行に著しく貢献したものの。

### (欠格事項)

第3条 前条に該当する場合であっても、次の各号のいずれかに該当するときは、表彰を行わない。

- (1) 現場代理人等が、表彰実施年度の前年度当初から表彰日までの間において、道路交通法等の法令の規定に基づく処分を受け、又は受けることが明らかである場合。ただし、表彰後に欠格事項に該当することが判明した場合は、表彰自体を取り消すものとする。
- (2) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の前年度当初から表彰日までの間において、埼玉県の契約に係る入札参加停止等の措置要綱に該当し、入札参加停止又は文書による警告の措置を受け、若しくは措置を受けることが明らかである場合。
- (3) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の前年度当初から表彰日までの間において、建設業法の規定に基づく監督処分を受け、又は受けることが明らかである場合。
- (4) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の前年度に完成したすべての工事について、工事成績評定点が65点未満となる工事が含まれる場合。
- (5) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の前年度当初から表彰

日までの間において、埼玉県建設工事等暴力団排除措置要綱に該当し、入札参加停止の措置を受け、又は措置を受けることが明らかである場合。

- (6) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の過去2ヶ年度当初から表彰日までの間において、県発注工事で不正軽油を使用し工事成績評定の法令遵守項目で減点対象となった場合。
- (7) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の過去2ヶ年度当初から表彰日までの間において、県発注工事でディーゼル車の不適合車を使用し、埼玉県生活環境保全条例による運行禁止命令を受けた場合。
- (8) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の過去2ヶ年度当初から表彰日までの間において、県発注工事で過積載を行い、道路交通法違反等により、逮捕または送検された場合。
- (9) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の過去2ヶ年度当初から表彰日までの間において、県発注工事の総合評価方式で、正当な理由なく技術資料及び技術提案の内容に基づき履行できなかった場合。
- (10) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の前年度当初から表彰日までの間において、入札契約に関する不当な強要を感じる行為があった場合。
- (11) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の前年度当初から表彰日までの間において、県内における公共工事で作業員（下請け業者に係る作業員も含む。）及び第三者の死亡事故（請負者に責任のあるもの）を起こした場合。
- (12) 現場代理人等の所属する建設業者が、表彰実施年度の前年度当初から表彰日までの間において、法令の違反に関し、文書による厳重注意を受けるなどの指導を受けた場合。
- (13) その他表彰にふさわしくないと判断したもの。

2 共同企業体の構成員に欠格事項が生じた場合は、その共同企業体に属する現場代理人等の表彰は行わない。

（候補者の推薦）

第4条 第2条の規定に基づく表彰の候補者は、実施基準の定めるところにより、建設工事を所掌する総括監督員又はその他の関係職員が、審査委員会委員長へ推薦するものとする。

（審査委員会）

第5条 第2条の規定による表彰について、その可否を審査するため各課（所）に審査委員会（以下「委員会」という。）を設ける。

2 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

3 委員長、副委員長及び委員は、別表第1の職にある者を各課（所）長が指名する。

- 4 委員長は、委員会を招集し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長に事故があったとき、又は欠けたときに職務を代理する。
- 6 副委員長及び委員は、やむを得ない事情があるときは、所属する組織の職員に代理させることができる。

(被表彰者の決定)

第6条 被表彰者は、委員会の審査結果に基づき、各課(所)長が決定する。

(表彰の方法)

第7条 表彰は、年1回各課(所)長が行い、表彰状を授与する。

2 表彰には、副賞を添えることができる。

(実施基準)

第8条 この要綱の実施に関し必要な基準は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年9月1日から施行する。

## 別表第1

### 1 下水道事業課

区 分	職 名
委員長	副課長（技）
副委員長	課長が指定する副課長（事、技）、又は主幹（事、技）相当職
委 員	課長が指定する副課長（事、技）、又は主幹（事、技）相当職

### 2 下水道事務所

区 分	職 名
委員長	所長が指定する副所長（技）、又は担当部長（技）
副委員長	所長が指定する副所長（技）、又は担当部長（事、技）
委 員	所長が指定する部長（事、技）、又は担当課長（事、技）相当職